

人生の目的は、安全なる生活にあり。これは、本紙前號の社説に於て述べたる處であるが、生活の安全と云ふ裡にも、自から程度のあるものであつて、土人の如く、裸跣で、天然の產物を食として、武陵桃源の生活をするのも生活だし、又歐米人の如く人智のあらん限りを盡して、向上發展を計る生活も生活である、而して此の生活の程度は、各自鉤々の考へを以て定むることは勿論であるが、私共の如く、二十世紀の舞臺に立つて、文明式の生活を喰はんとするものは、かの歐米人の例に倣ひ智力を盡して生活の向上を計らねばならぬのである。

しかして私共の生活に、最も密接な關係を持つて居るものは、改めて云ふまでもなく土地であるが、而かも此の土地を最も有利に、私共の生活に當て嵌め様にするには、經濟學上の原則に據るの外、途がないのである。經濟學云ふことは、私共の苦い顔をして頭を押へる人もあらんが、併し經濟學云ふことは、私共の生活に須臾も離るべからざる關係を有つて居るが故に、どうしても等閑に附する譯に行かぬのである。

經濟學とは、「學問的に云へば「生産分配、消費」を論する學問なり」と云ふので、又平たく云へば物を作り出し、之を市場に送り、更に之を使用するの道行きを説くものである。而して右の中、土地は何れの部分にまゐるかと云へば、生産の部に屬すもので、而かも此の土地の意義は、く之を解釋して、原野、山林、沼澤、何海を總稱するものであるから、併ひ茲に一國があつて資本に富み人口も多く、勞力が盛んであつても、若し耕すに原野無く、採伐するに森

白
雲
西
雨
時
報

NOTÍCIAS DO BRAZIL
 Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
 No. 89
S. Paulo, Brazil
 Proprietário e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas

por Anno	10\$000
„ Semestre	5\$500
„ Mez	1\$000
„ Semana	\$800

落花生の栽培に就て

坊こか尔テ
して直に記す
て置かう。
の行動は議論
して。関雲
ら静かに世
ある現代
を其草薙に
全團一致で
ティックな
かは不必要
刻の差迫つ
負けてドロ
▲奔駛駆空
車場に急が
飛び込んだ
つ紫の様な
の様な氣焰
らうの嘆き
か、車窓を打
意にも留め
的停車の地
五時四十四
▲プラット
動車に飛乗
頃に左側に
燈を發見し
士一行の下
はさぎ苦し
行三人が真
はサウンド
條として庭
ながら一段
▲戸口のベ
白いエプロ
屋を開けて
應接の間で
を見比べな
屋を開けて
御尋ね下さ
ラへ」と自
へ導いて吳

▲ル氏に對する
君と山田君は、ル氏の右側に坐し、彼の行動を監視する。ル氏は、筆記録によると、「アーヴィングの日本に関する知識は、彼の著書『スコットランドの歴史』の序文に記載されたものである」と述べている。また、ル氏は、アーヴィングの著書『スコットランドの歴史』の序文で、アーヴィングが「スコットランドの歴史」について語っているところを引用している。

して質問の第
功があつた。
じて「貴下の
夜の演説を
に僕は貴下が
の爲めに健闘
より多く敵
りここで貴下が
る有司輩が
を左右するが
其事自身に對
及いのである
國際間の感情
るものではな
のらうが「ア、
め次第である
に通曉して
權威がある譯
する智識は決
木人以上に實
に於けると同
等に陳ぶるよ
見せる「乍
見席を獎めた
ことはセライ
に陣取つて牡
へく氏に對し

に意見を發
一米人ごし
對する忠告
縁若くは士
勇敢なる日
に肩を並べ
兵を擧退す
ものである
何この閑人
暗澹として
近の情勢を
本兵の露西
定的意見を
の問題とし
なれば太平
るのみであ
あらねばな
論の根本義
さんとする
をエンファン
れは氏が平
取り分捕主
であると云
戦の結了し
の名刺の裏
氏の著書の
で「是非一
東洋の實情
附言したら
望しつゝあ
りて牡蠣潤
後七時五十
ば秋月澄明
云つたやう
頭の中に浮

Digitized by srujanika@gmail.com

三人旅

南鳩生

(七)

茅原さんの怪氣焰の勢か、どうかは知らないが、十二日の朝は、數日來の霖雨ばかり止んで、對岸はうつすり露にこめられ、森の影も山の影を高く低く、たぼろ／＼、ねり絆るに薄墨のじみ渡つたやう、丘の周囲の緑り滴る草木には、百舌や、雀や、名も知らぬ水禽の聲が、亂調子に響いてゐた。僕は北島ドクトルの蔭で咽喉の大に樂になり、朝の珈琲も美味かつたので、是れならモ

大丈夫だ。元氣づいて來た。今日も亦白鳥さんの案内で、騎馬して芭翁の描いた坊ちゃん宣敷と云ふ態で外へ飛び出す、結局多羅間

程の勇氣がなく、茅原さんは魚釣りと云ふので、簡袖單衣の屁子^{ヒツコ}带姿^{ヒツコ}で、夏目漱石の描いた坊ちゃん宣敷と云ふ態度で騎り出した。

茅原さんは半日掛つて、可なり大きなのを一尾と、小さなを四五尾釣つて、ヤア釣れたく、伯刺西爾の魚は僕にも釣れるのだ、さも特意

さうに持つて來て、サア今晚は此の魚の料理で一杯と、持ち込まれた福井さんの奥さんこう、迷惑があつた

魚は僕にも釣れるのだ、さも特意

茅原さんが白鳥さんと北島ドクトルと一緒に遊ぶに連れて、役員自らすゞ

別な方面を見る云ふ、プログラムであつたが、僕は未だ馬で飛び廻る

土壌専門家の云ふ話で、一夕試験器

に懸けて、分析してみたら、此處の地味に於ては、甲乙を比較し

たる、必ず良否の異いがあると思

ふ、併しレヂストロ植民地を廻つて視たが

如にして能く開拓て居ることは思はなかつた。土壌専門家の云ふ話で、一夕試験器

に懸けて、分析してみたら、此處の地味に於ては、甲乙を比較し

たる、必ず良否の異いがあると思

ふ、併しレヂストロ植民地を廻つて視たが

如にして能く開拓て居ることは思はなかつた。土壌

大正六年十二月十四日

○各國電報

日本出兵問題

東京よりの公報に據れば先般巴里に開催されたる會議に於て聯合國は日本兵の歐洲輸送は行はれ得ざることを了解し、何等日本に要求する所なきを以て日本政府は歐洲への出兵如何並に其船舶に對する措置は自ら決定すべしと宣明せり(紐育發九日電)

露獨休戰條約締結

獨休戰條約愈調印されたり、チエルバチ一大將其總司令官に任命されたり(ロンドン發)

伊國戰況

獨墳軍が河口附近に於てボアーベ河を渡らんとする努力は一ヶ月以前より全然無効に歸せりと云ふべく、ベロエビ子ーシアを擊しつゝあるボロエビク軍(獨將)の左翼は常に擊退されたり、ブレンタ、ピアーベ兩河間の山野に於て獨墳軍は時々攻撃を敢行すれど伊軍は英佛と協同して僅かに退却したる外全線守り固し、露國戰線を引き揚げたる獨兵は今や續々當方の集中し聯合軍側に於て之れに対する對抗策のならざる中一層強硬なる敵軍の大襲撃行はる可と推測せらる(羅馬發十二日)

●雜報

葡萄牙の革命運動

右の結果内閣總理大臣アフォンソ・コスカ氏は軍隊及民衆の鬭争を鎮め有害無益の慘状を防がん爲め内閣總辭職を爲して大統領の裁可を得たるが大統領の幽閉一日激したる革命

東が出來上つたのである、條件左の

●佛國亦之を容れ爰に圓満なる約

△大統領の幽閉

思想は行く處まで行かねば治まらぬものと見へ革軍軍總指揮官シドニオバイス(元駐獨公使)氏の命に依り

ベレン官舍にヘルナ・クザーノ、マシヤード大統領を幽閉し周圍を堅く警護して外部との交通を全く遮断し

△假政府成立更にシドニオバイス

氏は葡萄牙駐在の伯刺西爾公使に書

送り、同公使の上席公使たるを見

込んで各締盟國使節に對し本日新政

府組織の特權を握れる旨の通牒を依頼したる處より伯國公使は直ちに外交會議を開き今や何事か協議中だ

二、千九百十九年三月三十日迄

の期間に是等の船舶をして少く

とも伯刺西爾、歐羅巴間に往航四十回坂航三十五回の航海を爲さしむること

三、是等の船舶は新たに伯國政府の要求なき限りブラジル國旗を

掲揚し乗組船員は伯國人たるべ

四、該締約の爲め輸入貿易に與ふべき損失の辨償として佛國は伯

國に對し一億法の價格に相當する珈琲二百萬俵並に他の物品を

買入ること

▲佛國大蔵大臣の發表せる處

及技師長ラ・ンダーハー氏の一月前週レ

トロ植民地を來觀され

▲南サンバウロ鐵道(ジユキア鐵道)

兩聯邦政府大蔵大臣アントニオ、カ

ルバチ一大將其總司令官に任命されたり(ロンドン發)

五倍收穫は最低額にして豐作の場合は五十倍以上の收穫を見るものである。

六、千九百十九年三月三十日迄

の期間に是等の船舶をして少く

とも伯刺西爾、歐羅巴間に往航四十回坂航三十五回の航海を爲さしむること

七、藤崎商會の繁昌

朝より晩の九時まで客の詰め通ふし

て店員眼をまわす程の繁忙なりと

八、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はねばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

九、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十一、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十二、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十三、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十四、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十五、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十六、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十七、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十八、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

十九、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十一、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十二、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十三、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十四、藤崎商會の繁昌

收穫高少なく概して不作と云はね

ばならぬ、普通作ならば種子の十

倍も至つて容易にして熱帶地方にあ

りては水溜りの土地若くは混地を除くの外至る所の劣等の地放棄せる

土地にありてよく繁茂すべく其證は農家も多かるべしと云ふ。

二十五、藤崎商會の繁昌

